

月刊 都響

2022 March



気を付けてね！ ホールでの過ごし方

- 携帯電話や音が鳴るモノは電源を切りましょう。
- 演奏中はお話しないで静かに聴きましょう！  
周りの人も演奏を楽しみに来ています。
- 録音・録画、写真撮影は禁止です。

2022  
3/19

# Promenade Concert

プロムナードコンサート No.396

指揮／アラン・ギルバート

ピアノ／清水和音

バルトーク：《中国の不思議な役人》組曲 op.19 Sz.73 (20分)

リスト：ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124 (18分)

コダーイ：組曲《ハーリ・ヤーノシュ》(22分)

 東京都交響楽団

# PROGRAM NOTE

今日はハンガリー生まれの作曲家たちの音楽を聴きます。ハンガリーはヨーロッパの中央に位置する共和国です。人々に古くから伝わる民謡や踊りの曲には、生き生きとしたユニークなリズムがあります。3人の作曲家たちには、それがどんなふうを受け継がれているのでしょうか。華やかなオーケストラ曲を通じて味わっていきましょう！



## バルトーク：《中国の不思議な役人》組曲 op.19 Sz.73



最初はベーラ・バルトーク（1881～1945）の作品です。

バルトークが活動した20世紀の始め、ハンガリーはオーストリアから独立し、人々は自分たちの伝統や文化に強い関心を持っていました。バルトークも祖国の音楽に関心を持ち、当時発明されたばかりの大きな録音機を背負って、ハンガリーの農民たちの歌をたくさん集めて、そのメロディーやリズムを自分の作品に生かし、新しい音楽を生み出していきました。

今日演奏される《中国の不思議な役人》組曲は、パントマイムという身振りだけで演じる台詞のない劇のために作った音楽をもとに、バルトーク自身がコンサート用に手を加えた組曲です。何度となく倒されても簡単には死なない不思議な中国人、その強い欲望や不気味さなどが、荒々しいリズムや、さまざまな楽器による力強い響きによって描かれます。

## リスト：ピアノ協奏曲第1番 変ホ長調 S.124

フランツ・リスト（1811～1886）はバルトークより70年前にハンガリーで生まれました。少年時代に祖国を離れ、ウィーンやパリといった音楽文化の盛んな都会で活躍したリストは、ハンガリー語を話すことはできなかったと言われていたようですが、自分はハンガリー人である、ということを生涯大切に思っていました。

リストはピアニスト兼作曲家としてヨーロッパ中をツアーで周り、ほかの人には真似のできない難しい曲を弾きこなし、現代のアイドルのような注目を浴びて活躍しました。

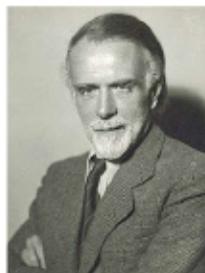


ピアノ協奏曲第1番は、リストが21歳頃から構想し始め、ようやく45歳の年に完成させた力作です。当時ピアノ協奏曲は3つまたは4つの楽章に分けて作られるのが普通でしたが、リストは一つの大きな楽章で構成し、スケールの大きな作品に仕上げました。途中でトライアングルが大活躍する場面があるのも特徴的です。

## コダーイ：組曲《ハーリ・ヤーノシュ》

おしまいに登場するゾルターン・コダーイ（1882～1967）は、バルトークより一歳年下の作曲家です。ハンガリーの農民たちの歌を録音したり楽譜に書き留めていく方法をバルトークに教えたのは、実はコダーイでした。二人は協力しながら民謡研究に取り組み、共にハンガリーの国民的な音楽作りに貢献したのです。

組曲《ハーリ・ヤーノシュ》は、コダーイが44歳の年に作った歌劇から6曲を選んでまとめた組曲です。主人公の農民ハーリ・ヤーノシュは、ハンガリーでは人気の伝説の人物。大ぼら吹きで、自分は7つの頭の竜を退治したとか、ナポレオンとの一騎討ちで勝ったといった作り話を得意げに語ります。音楽はその様子を描き、「前奏曲／おとぎ話は始まる」、「ウィーンの音楽時計」、「歌」、「戦争とナポレオンの敗北」、「間奏曲」、「皇帝と廷臣たちの入場」で構成されています。「歌」「間奏曲」には、**ツィンバロン**というハンガリーの民族楽器（小さなバチで弦を打って音を出します）が独特の響きを奏でます。



### ツィンバロン

ハンガリーを中心とする中欧・東欧地域で見られる、台形の箱に張った金属製の弦を叩いたり弾いたりすることによって演奏する楽器。1878のパリ万国博覧会に出品されたことをきっかけに、ハンガリー国内で人気が高まり普及が進んだ。

文/飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

## 指揮 アラン・ギルバート



©Rikimaru Hotta

東京都交響楽団首席客演指揮者、NDR エルプフィル（北ドイツ放送響）首席指揮者、ロイヤル・ストックホルム・フィル桂冠指揮者、ジュリアード音楽院指揮・オーケストラ科ディレクター。2021年にスウェーデン王立歌劇場音楽監督に就任。

2017年まで8シーズンにわたってニューヨーク・フィル音楽監督を務め、芸術性を広げる活動が高く評価された。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管など世界の主要オーケストラに定期的に客演。オペラではメトロポリタン歌劇場、ロサンゼルス歌劇場、ミラノ・スカラ座などへ登場した。メトロポリタン歌劇場とのDVD『ドクター・アトミック』（Sony Classical）、ルネ・フレミングとのCD『ボエム』（Decca）でグラミー賞を獲得。

## ピアノ 清水和音



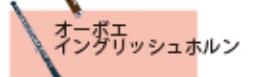
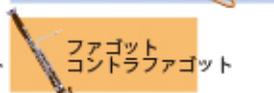
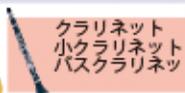
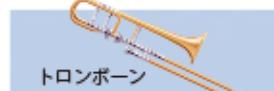
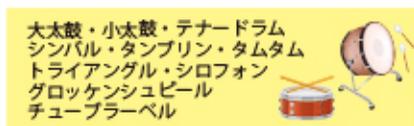
©Mana MIKI

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。1981年、20歳でロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞。これまでに国内外の著名オーケストラ・指揮者と共演。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

デビュー40周年となる2021年春には「3大ピアノ協奏曲の饗宴」としてベートーヴェン《皇帝》、チャイコフスキー第1番、ラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露。同年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院教授。

## オーケストラ配置図（3月19日 プロムナードコンサートNo.396）

演奏する曲によって使わない楽器もあります。  
どの曲にどの楽器が使われているかにも注目してね。



★コンサートマスター 指揮者



## 東京都交響楽団

東京オリンピックの記念事業として  
1965年に東京都が設立しました。

都響（ときょう）という愛称で親しま  
れています。

上野の東京文化会館を本拠地として、サントリーホールや東京芸術  
劇場などで定期的にオーケストラの演奏会を開催しています。その他、  
交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』など  
ゲーム音楽の演奏や、都内の小中学生を対象に開催している音楽鑑賞教室、  
病院や福祉施設への出張演奏など多彩な活動に取り組んでいます。

2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、  
「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めました。

